

「10年ほど、ヤオコーは「日本一元気なスーパーマーケット」と言われています。30年連続の増収増益が示すように着実に業績を伸ばし続けていることや、新しい商品、売り場、店作りにも挑戦し続けていることへの評価だと思えます。

ご承知のように、スーパーは労働集約型の産業ですから、日本一元気なのは、ヤオコーの従業員が日本一元気に働いてくれているからです。では従業員の「元気さ」を引き出したり、支えたりしているものは何かを考えますと、第一はヤオコーの志の高い経営理念だと思っています。ヤオコーの明文化された基本理念は「生活者の日常の消費生活をより豊かにすることによって地域文化の向上・発展に寄与する」です。文章にするとうろくしても抽象的になってしまいますが、売ればよい、もっかればよいではなくて私たち

～HISTORY～ 暮らしを変えた立役者

の店が存在することで地域の皆様の食を中心とした日常生活を少しでも豊かにして差し上げること、地域の皆様に当社の店の近くで暮らす喜びを感じていただくこと、それらがヤオコーの存在理由であり目的です。小売業は変化適応業ですから、お客様のニーズの



パートナーさんの頑張りがヤオコーの強さの源になっている(写真右が本人)

会長は理念の伝道師たれ

「おかげさま」を胸に前へ

「おかげさま」を胸に前へ つながります。私は従業員皆さんに「おかげさまで」と言われる働き方をしよう。「おかげさまで」と言われる会社になろう」と言いつづけてきました。この「おかげさま」という精神がヤオコーの経営理念の基になっています。 ヤオコーも大きくなり従業員も増えました。社長と従業員の距離はどうしても遠くなってしまいます。今

化に合わせ、あるいは変化を促すように、提供する商品やサービスを変えていきます。しかし、企業には変えてはいけないもの、変わらないものがあると思っっています。それが経営理念であり哲学です。長いレンジで考えますと志の高い企業理念や哲学を経営のバックボーンとして大切にしている会社は着実に発展するのだと思います。 ヤオコーは母から私、私

日経MJ 2019年7月26日掲載